

就任のごあいさつ

幼いころの私は、よく母の手伝いをしていました。それは、険しい顔で働く母の顔ではなく、喜ぶ母の顔を見たかったからです。

当時、母は毎日のように、リアカーいっぱい野菜を積み込んで、浜町に振り売りに出かけていました。私は登校時にリアカー押しを手伝い、きつい坂を越えていきましたので、学校に着くころには汗びっしょりとなっていた思い出があります。学校が休みの日には、町中までリアカー押しを手伝いながら、母の後をついて回ったものでした。でも、高学年になると恥ずかしい気持ちが出ていて回るのをやめていました。

この手伝いに対して、母はやさしい笑顔で「ありがたう。助かったよ。」という言葉は何回も言ってくれました。ある日のこと、父も一緒になって預金通帳を見せてくれたことがあります。売り上げの中から、生活費に使われた後の金額であろう、わずかな金額が記され、少額ながら着実に増えている残高、その内容は幼い私でもよく

理解できました。それが労働やお金の尊さを教えてくれていたのだとわかったのは、ずっと後の社会人になってからのことです。

それが私の心の根っこです。粘り強く何事にも向き合う父や母の姿は、幸せなことに今でも見ることができます。自分もその背中をみて懸命に働きたいと考えています。

私は、先の町長選挙において、町民の皆さまをはじめ各方面からのおたたくご支援により当選させていただき、3月6日に山都町長に就任しました。

この町には、農業情勢の悪化に伴う農村の疲弊、商店街の空き店舗の増加、若者の流出の対応など課題が山積しています

このような課題について、皆さまと一緒に、じっくりと、これからの町の「ありよう」を考えていきます。そして、たくさん汗をかきながら愛する町をつくって行きたいと思えます。

3月議会 工藤町長 所信表明から

町民との対話を

まちづくりに

私は選挙を通じて、またかつて町職員として町民のみなさまとお話しをする中で、「旧町村の垣根を越えて、新しい山都町をつくりたい」ということを基本理念にしたいと思っています。旧町村の地域的なまとまりは、大切にしなければなりません。合併後8年を経過したいま、山都町が一体となり、オール山都町の総力で、新しいまちづくりを進めましょう。

人口減少社会、厳しい農林業・商工観光業の環境の中で、山都町の中の者同士で争っている猶予はありません。競争の相手は町の外にいます。

これからの山都町の新しいまちづくりを、町民のみなさんとの徹底した対話によって行いたいと考えています。町の誇るべき自然、歴史、棚田や通潤橋、清和文楽、神楽、豊かな農産物など話し始めたら尽きることがありませんが、何よりの財産は「人」「町民」です。町民のみなさんの町に対する熱い思いが財産なのです。町政を進め

るうえで、ひざをつき合わせた町民の皆さんとの対話によるまちづくり、これを一貫した基本姿勢として、住民一人ひとりの幸せの実現に向け、さまざまな施策を展開していきます。

農林業など町の産業の振興
有機農法や低農薬農法といった自然条件を活かした農林産物の生産。また、付加価値をつけるため、商工業との連携や町内物産館の活用により、加工・販売の創意工夫を図り、山都ブランドの商品開発に努めます。

住環境の整備促進
快適で安全安心社会の達成のための社会資本の整備、情報伝達体制の確立、防災危機管理体制の確立などを積極的に取り組みます。

健康な人の多い町づくり
長寿社会にあって、住民の方々の健康の保持と増進は、極めて重要な施策であり、各種健診予防接種事業をはじめ、保健事業やスポーツなどを推進し、「健康な人の多い町日本一」を目指します。

協働によるまちづくり
山都町誕生後に立ち上がった自治振興区の活動は、行政に頼ることなく、「地域のことは地域で決めて行動する」という住民自治の基

盤として、それぞれ地域の振興のために、独自に特色のある取り組みをされています。

先日、「幸せ実感！むらづくり大賞」を受賞された昔地域をはじめ、伝統芸能の神楽の伝承・復活、地域の景観づくり、ふるさと祭りの開催など、枚挙にいとまがありません。こうした住民が主体となった協働の精神が確実に広まりつつあり、この自治振興区の制度の更なる発展を支援します。

さらに新たな動きとして、女性グループが主導した「やまんマルシェ」が開催され盛況でした。私は、「町再生のキーパーソンは女性である」と考えています。こうした山都町の女性の活躍を応援していきます。

行財政の改革
自主財源が乏しく、依存財源により多くを賄っている山都町にとって、行財政改革は避けて通ることのできない喫緊の課題です。

とくに、合併から10年の節目を目前に控え、地方交付税の算定替えなどを視野に安定した健全な財政運営が図れるよう、住民にとって必要な事業の優先順位をつけながら、有機的な機構改革、行財政改革を進めます。



山都町長 工藤 秀一